

子どもたちがパラアスリートと一緒に車いすバスケットを体験！  
世界陸上銅メダリストの白石黄良々選手もかけっこのコツを伝授！  
障がいの有無にかかわらずみんなでスポーツを楽しむイベント  
「上達する運動会」  
イベントレポート



株式会社LAVA Internationalは、みんなで一緒にカラダを動かし、運動の楽しみ方を見つけていくスポーツイベント「上達する運動会～Let's エビバリ！できることを見つけよう！～」を、2月16日（日）にたきがしら会館にて開催いたしました。小学校低学年のお子様を中心に総勢約100名のご家族が参加されました。

本イベントは、子供たちの運動機会の場を創出し、子供の可能性を広げる目的のもと、株式会社LAVA Internationalを始め、公益財団法人横浜市体育協会、株式会社セレスポが共催で実施いたしました。

お子様たちは「車いすバスケットボール」「かけっこ教室」「ゆるスポーツ」「チアダンス教室」の一つの種目を体験。LAVA所属のパラアスリートや、世界陸上男子4×100mリレー銅メダリストの白石黄良々選手をはじめ、各分野で活躍するアスリートが講師となり子供たちに直接レクチャーをしました。最後は参加者全員で車いすリレーを実施し、みんなで一緒にカラダを動かすことの楽しさや、パラスポーツの魅力を体感していただくことができました。

### 当日プログラムの様子

#### <車いすバスケットボール>

LAVA所属のパラアスリート、加藤正選手と田中聖一選手が講師となり、パラスポーツの中でも人気の車いすバスケットに挑戦しました。通常の車いすと競技用車いすの違いについて学んだ後は、実際にパスやシュートを練習。お子様たちはすぐに車いすの操作を習得し、チーム対抗の試合にトライしました。チームプレーで白熱した戦いが繰り広げられ、どの試合も接戦となりました。試合でシュートを決めたお子様は、「車いすに乗りながらのバスケットは難しかったけれど、シュートを決めることができうれしかった」といった感想を話してくれました。



#### <かけっこ教室>

世界陸上銅メダリストの白石黄良々選手をはじめ、セレスポ所属の陸上選手たちが、普段から実際に行っているストレッチや、走り方の基礎・速く走る為のコツを伝授。スタートダッシュの練習では、正座やうつ伏せなど様々な姿勢から走り出す「変則スタート」というトレーニングを実践しました。参加者は選手からのアドバイスを取り入れながら、集中して正しい走り方を学んでいる様子で、「日本の代表選手と一緒に走ることができて嬉しかった」と満足気にコメントしていました。



## <ゆるスポーツ>

スポーツはルールを工夫することで、障がいのある方や運動が苦手な方も一緒に楽しめるという考え方を伝え、みんなで楽しむことの大切さを伝えました。当日参加したお子様たちには、保護者の皆様にも一緒に参加していただき、最後はお子様は保護者に勝利して終わることができました。



## <エビバリヨガ！>

障がいの有無や老若男女に関わらず、誰もが楽しめるヨガコンテンツとしてLAVAが開発した「エビバリヨガ！」。運動前のウォームアップとして参加者全員で行いました。ヨガをするのは今回が初めてというお子様も多くいらっしゃいましたが、みんなでヨガの楽しさに触れながら心身共に温めることができました。



## <車いすリレー>

運動会の最後にはお子様全員で車いすリレーに挑戦。慣れない車いすの操作に苦戦しながらも、みんなで声を掛け合い、互いに応援しながらゴールすることができました。



当日は、横浜こどもスポーツ基金への寄付を呼びかけ、会場内にバナーやフラッグの掲出も行いました。参加者の方からいただいた寄付は、

**¥ 13,241.-** となりました。

本イベントは、株式会社 LAVA International・株式会社セレスポ・公益財団法人横浜市体育協会の各社がコンテンツを活かした3社共催事業となっており、各種メディアでの取り上げもありました。企業と連携した新たな取り組みとして、継続実施できるよう工夫し、次年度以降も開催したいと思います。

参加者：約100名

内こども：約50名（内、障がいのある子供15名）

スタッフ：35名（内、障がいのある方10名）

